

10/510501
Rec'd PCT/PTO 07 OCT 2004

特 許 協 力 条 約

PCT

国際予備審査報告

REC'D 01 JUL 2004

WIPO

PCT

(法第12条、法施行規則第56条)
[PCT36条及びPCT規則70]

出願人又は代理人 の書類記号 P 3 1 2 0 9 - P 0	今後の手続きについては、国際予備審査報告の送付通知(様式PCT/ IPEA/416)を参照すること。	
国際出願番号 PCT/J P 0 3 / 0 4 9 2 2	国際出願日 (日.月.年) 1 7 . 0 4 . 2 0 0 3	優先日 (日.月.年) 1 8 . 0 4 . 2 0 0 2
国際特許分類 (IPC) Int. Cl ⁷ A 6 1 L 9 / 0 3		
出願人 (氏名又は名称) 松下電器産業株式会社		

1. 国際予備審査機関が作成したこの国際予備審査報告を法施行規則第57条(PCT36条)の規定に従い送付する。
2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で <u>3</u> ページからなる。 <input checked="" type="checkbox"/> この国際予備審査報告には、附属書類、つまり補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関に対してした訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面も添付されている。 (PCT規則70.16及びPCT実施細則第607号参照) この附属書類は、全部で <u>4</u> ページである。
3. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。 I <input checked="" type="checkbox"/> 国際予備審査報告の基礎 II <input type="checkbox"/> 優先権 III <input type="checkbox"/> 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成 IV <input type="checkbox"/> 発明の単一性の欠如 V <input checked="" type="checkbox"/> PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明 VI <input type="checkbox"/> ある種の引用文献 VII <input type="checkbox"/> 国際出願の不備 VIII <input type="checkbox"/> 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 0 9 . 1 0 . 2 0 0 3	国際予備審査報告を作成した日 1 1 . 0 6 . 2 0 0 4		
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/J P) 郵便番号 1 0 0 - 8 9 1 5 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 森 健一	4 Q	9 2 6 3
電話番号 0 3 - 3 5 8 1 - 1 1 0 1 内線 3 4 6 6			

様式PCT/IPEA/409 (表紙) (1998年7月)

I. 国際予備審査報告の基礎

1. この国際予備審査報告は下記の出願書類に基づいて作成された。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に
 応答するために提出された差し替え用紙は、この報告書において「出願時」とし、本報告書には添付しない。
 PCT規則70.16, 70.17)

☐ 出願時の国際出願書類

- | | | | | | |
|-------------------------------------|------------|---|----------------|--------|---------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 明細書 | 第 | 1-27 | ページ、 | 出願時に提出されたもの、 |
| | 明細書 | 第 | | ページ、 | 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの |
| | 明細書 | 第 | | ページ、 | 付の書簡と共に提出されたもの |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 請求の範囲 | 第 | 4, 5, 9, 12-17 | 項、 | 出願時に提出されたもの、 |
| | 請求の範囲 | 第 | | 項、 | PCT19条の規定に基づき補正されたもの |
| | 請求の範囲 | 第 | | 項、 | 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの |
| | 請求の範囲 | 第 | 2 | 項、 | 05.03.2004 付の書簡と共に提出されたもの |
| | 請求の範囲 | 第 | 3, 6-8, 10, 11 | 項、 | 17.05.2004 付の書簡と共に提出されたもの |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 図面 | 第 | 1-8 | ページ/図、 | 出願時に提出されたもの |
| | 図面 | 第 | | ページ/図、 | 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの |
| | 図面 | 第 | | ページ/図、 | 付の書簡と共に提出されたもの |
| <input type="checkbox"/> | 明細書の配列表の部分 | 第 | | ページ、 | 出願時に提出されたもの |
| | 明細書の配列表の部分 | 第 | | ページ、 | 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの |
| | 明細書の配列表の部分 | 第 | | ページ、 | 付の書簡と共に提出されたもの |

2. 上記の出願書類の言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願の言語である。

上記の書類は、下記の言語である _____ 語である。

- ☐ 国際調査のために提出されたPCT規則23.1(b)にいう翻訳文の言語
☐ PCT規則48.3(b)にいう国際公開の言語
☐ 国際予備審査のために提出されたPCT規則55.2または55.3にいう翻訳文の言語

3. この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでおり、次の配列表に基づき国際予備審査報告を行った。

- ☐ この国際出願に含まれる書面による配列表
☐ この国際出願と共に提出された磁気ディスクによる配列表
☐ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された書面による配列表
☐ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された磁気ディスクによる配列表
☐ 出願後に提出した書面による配列表が出願時における国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった
☐ 書面による配列表に記載した配列と磁気ディスクによる配列表に記載した配列が同一である旨の陳述書の提出があった。

4. 補正により、下記の書類が削除された。

- ☐ 明細書 第 _____ ページ
☒ 請求の範囲 第 1 項
☐ 図面 図面の第 _____ ページ/図

5. ☐ この国際予備審査報告は、補充欄に示したように、補正が出願時における開示の範囲を越えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c) この補正を含む差し替え用紙は上記1.における判断の際に考慮しなければならず、本報告に添付する。)

V. 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲	2-17	有 無
	請求の範囲		
進歩性 (IS)	請求の範囲	2-17	有 無
	請求の範囲		
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲	2-17	有 無
	請求の範囲		

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

請求の範囲2-9に係る発明における、ヒータをLEDの上方に配置してヒータ配線を複数のLEDの中央から配線した点、及び、請求の範囲10-17に係る発明における、保持部材と蓋カバーとを有する点については、国際調査報告で引用された文献のいずれにも記載又は示唆がなく、かつ当業者にとって自明なものでもない。

請求の範囲

1. (削除)

2. 光源としての可視発光ダイオード (LED) と、LED を覆い光を拡散及び透過する第 1 のカバーと、前記第 1 のカバーの外側に設け少なくとも側面の一部または全部が光を拡散及び透過する第 2 のカバーと、香りを発する被加熱材料を加熱するヒータとを備え、

ヒータを LED の上方に配置し、ヒータ配線を複数の LED の中央から配線した芳香器。

3. (補正後) LED は複数個有し、その点灯タイミングをずらせた請求項 2 に記載の芳香器。

4. ヒータ配線は保持パイプで束ねた請求項 2 に記載の芳香器。

5. 保持パイプは LED の発光色と同系色とした請求項 4 に記載の芳香器。

6. (補正後) ヒータとして正温度係数 (PTC) ヒータを用いた請求項 2 に記載の芳香器。

7. (補正後) ヒータにより加熱する被加熱材料を加熱

する加熱面の表面最高温度を160～300℃とした請求項2に記載の芳香器。

8. (補正後) 第2のカバーの内側に設けた透明な樹脂からなる固定材により第2のカバーの上下方向の保持をした請求項2に記載の芳香器。

9. 固定材は少なくともLEDの取り付け位置にあたる部分の形状を略円筒形状とした請求項8に記載の芳香器。

10. (補正後) 光源としての可視発光ダイオード(LED)と、LEDを覆い光を拡散及び透過する第1のカバーと、前記第1のカバーの外側に設け少なくとも側面の一部または全部が光を拡散及び透過する第2のカバーと、香りを発する被加熱材料を加熱するヒータとを備えた芳香器であって、

香りを発する被加熱材料を入れる容器と、前記容器の下方に配置する加熱板と、前記加熱板を加熱する前記ヒータと、前記加熱板に対向する開口部を有するとともに前記加熱板及び前記ヒータを保持する保持部材と、外郭側面を形成する前記第2のカバーと、前記保持部材の開口より大なる開口部を有する蓋カバーとを備え、前記保持部材の前記開口部の周囲に形成した開口周部の上部を前記蓋カバーの前記開口部内側に嵌合させ、外部上面は少なくとも前記保持部材の開口周部、前記加熱板、及び

前記蓋カバーで形成されてなる芳香器。

1 1 . (補 正 後) 光源としての可視発光ダイオード (L E D) と、 L E D を覆い光を拡散及び透過する第 1 のカバーと、前記第 1 のカバーの外側に設け少なくとも側面の一部または全部が光を拡散及び透過する第 2 のカバーと、香りを発する被加熱材料を加熱するヒータとを備えた芳香器であって、

香りを発する被加熱材料を入れる容器と、

前記容器の下方に配置する加熱板と、

前記加熱板を加熱する前記ヒータと、

前記加熱板及び前記ヒータを保持し、前記加熱板からの熱を接触により又は空気層を介して前記容器に伝えるための開口部を有し、前記加熱板よりも低い熱伝導率の材料で形成された保持部材と、

外郭側面を形成する前記第 2 のカバーと、

前記加熱板からの熱を接触により又は空気層を介して前記容器に伝えるための開口部を有し、前記保持部材に取り付けられ、前記保持部材の少なくとも外周部及び前記第 2 のカバーの上部を覆う、前記加熱板よりも低い熱伝導率の材料で形成された蓋カバーと、

を備えたことを特徴とする芳香器。

1 2 . 前記蓋カバーと前記保持部材とはそれぞれの外周近傍で固定部材により相互に接続されていることを特徴

とする請求項 10 に記載の芳香器。

13. 前記保持部材の前記開口部の開口周部が、前記蓋カバーの開口部を通じて外部に露出していることを特徴とする請求項 10 に記載の芳香器。

14. 保持部材の開口部の周部と、蓋カバーの開口部の嵌合部における段差を略零としたことを特徴とする請求項 10 に記載の芳香器。

15. 前記保持部材は、前記開口周部と前記蓋カバーとの嵌合部の隙間から侵入する液の液溜まりを設けたことを特徴とする請求項 13 に記載の芳香器。